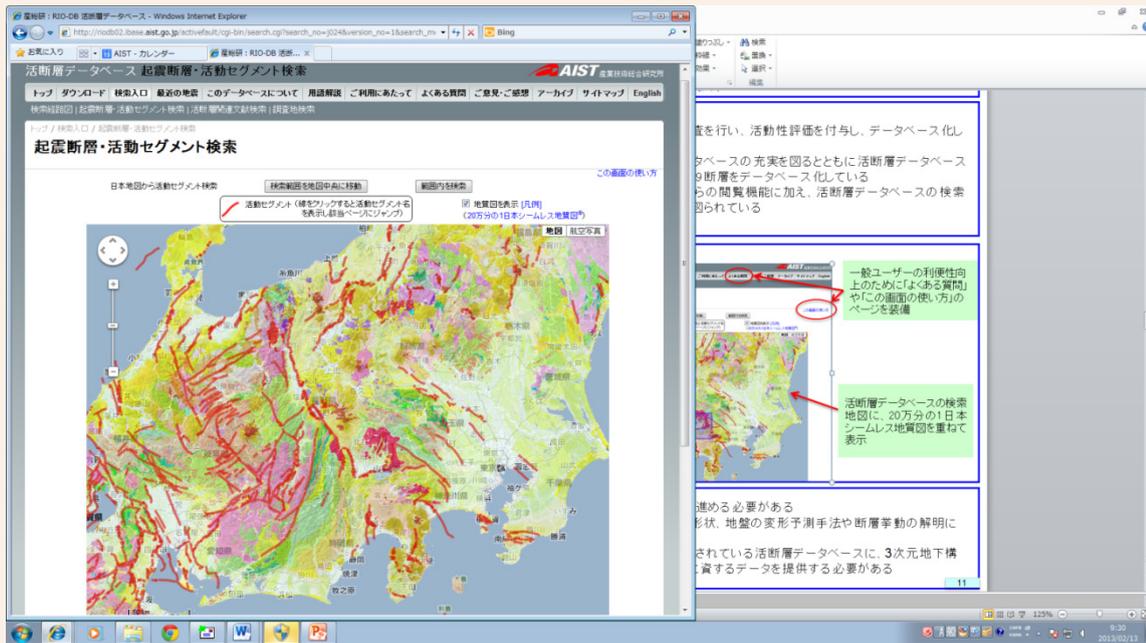


第2-4-7図 活断層データベース



検索画面に20万分の1日本シームレス地質図を重ね合わせられるように改良されている。
提供：産業技術総合研究所地質調査総合センター

3 研究情報基盤の整備

研究情報基盤は研究活動に不可欠ないわば生命線としての性格を有するとされており、情報通信技術の急速な進展に対応して、研究情報基盤の整備を進めることは、我が国の研究開発の国際競争力を確保する上で重要である。このため、政府は具体的取組として、研究機関間のネットワークの整備・高度化、データベースの構築・提供等を進めている。

(ネットワークの整備)

現代社会の基幹システムを構成しているコンピュータネットワークは研究開発の現場において開発された後、様々な分野に応用されてきたものであり、先端的な研究開発を進めるに当たりネットワークの性能の一層の向上が求められている。

情報通信研究機構では、構築・運営している新世代通信網テストベッド (JGN-X) により、新世代ネットワーク技術などの研究開発・実証実験を推進している (第2部第3章第1節2 (2) 参照)。

国立情報学研究所では、我が国の大学等の学術研究及び教育活動全般を支える基盤として学術情報ネットワークを整備してきたが、平成23年4月からは、一層の高速化・高機能化・高信頼化を図り、SINET 4¹として運用している。

農林水産省では、農林水産関連の研究機関を相互に接続する農林水産省研究ネットワーク (MAFFIN²) を構築・運営しており、平成25年3月末現在で91機関が接続している。MAFFINはフィリピンと接続しており、海外との研究情報流通のバックボーンともなっている。

1 Science Information Network 4 最大40Gbpsの回線で接続することが可能な世界最高レベルのネットワーク
2 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries Research Network

(データベースの構築・提供)

閲覧・複写・貸出等による論文等の原文献のサービスは、図書館のほか、様々な機関において行われている。これらの複数の機関が持つ原文献の書誌情報、所在情報等をデータベース化することにより、コンピュータを利用して、増大する情報を迅速、正確かつ容易に検索することが可能となる。

国立国会図書館では、我が国で発行される全ての出版物が納本されているが、収集・保管している資料に関するデータベースを作成し、ウェブサイト¹で情報を提供している。

国立情報学研究所では、効果的・効率的な研究開発活動の促進に向け、「イノベーションの創出に必要な科学技術」情報を体系的に収集、使いやすいように整備し、インターネット上で公開している。例えば、全国の国公立大学等の協力を得て、大学図書館等が所蔵する学術図書・雑誌の目録所在情報データベースを作成・提供しているほか、大学等における機関リポジトリ²の構築（自立構築が困難な機関への共用リポジトリサービスの提供を含む。）を支援している。

科学技術振興機構では、国内外の科学技術に関する文献、特許、研究者等に関する基本情報のデータベースを整備し、各情報を関連付けて提供するサービス（J-GLOBAL）の提供を行っている。平成24年度には、利用者が直感的に操作を行えるよう操作画面を改善し、また、検索に使う専門用語を簡単に見つけられる機能を搭載した。また、科学技術に関する文献の日本語抄録等を作成してデータベースを整備し、インターネットを通じて有料で文献情報検索サービス（JDreamII³）の提供等を行ってきたが、平成24年度中に、民間事業者へ文献情報検索サービス提供事業を移行した。さらに、我が国の研究成果を世界に向けて発信する機能を強化するために、学協会の学会誌・論文誌における論文の投稿から査読・審査、公開までの工程を電子化して行う科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE⁴）を整備し、学会誌・論文誌の国際化を支援し、国内外に向けた発信・流通促進を行っている。平成24年度には、データベース形式の国際標準化や論文の投稿審査システムの改善等を行ったJ-STAGE 3をリリースした。

農林水産省では、国内で発行されている農林水産関係学術誌の論文等の書誌データベース（JASIS）等、農林水産関係の文献情報や図書資料類の所在情報を構築・提供している。また、試験研究独立行政法人、国公立試験研究機関や大学の農林水産分野の研究報告等をデジタル化した全文情報データベース、衛星画像データベース、試験研究機関で実施中の研究課題データベース等を構築・提供している。

平成24年度の主な研究情報基盤関連施策の概要は、第2-4-8表のとおりである。

1 <http://iss.ndl.go.jp/>

2 大学及び研究機関等における教育研究活動によって生産された電子的な知的生産物を保存し、原則的に無償で発信するためのインターネット上の保存書庫

3 JST Document Retrieval system for Academic and Medical fields II

4 Japan Science and Technology information AGregator, Electronic

第2-4-8表 / 主な研究情報基盤関連施策（平成24年度）

府省名	実施機関	施策名
国会	国立国会図書館	・国立国会図書館科学技術関係資料収集整備
総務省	情報通信研究機構	・最先端の研究開発テストベッドネットワーク（JGN-X）の構築
文部科学省	科学技術振興機構	・基本的な科学技術情報の整備と活用促進（J-GLOBAL等）
		・ライフサイエンスデータベース統合推進事業（NBDC）
		・科学技術論文の電子化・国際化、発信・流通促進（J-STAGE等）
		・科学技術に関する文献情報の提供（JDream II等）
	海洋研究開発機構	・情報基盤業務費
	国立情報学研究所	・学術情報ネットワークの整備（SINET4）
厚生労働省	国立感染症研究所	・感染症情報センター経費
		・生物学的製剤の安全性情報収集、解析、評価に係る研究事業費
農林水産省	農林水産技術会議事務局	・農林水産研究情報総合センターの運営（JASI、MAFFIN等）
国土交通省	国土地理院	・地球地図プロジェクトの推進（時系列データ整備手法の開発）
環境省	自然環境局生物多様性センター	・生物多様性情報の収集・管理・提供の推進
文部科学省 特許庁	科学技術振興機構	・特許・文献情報統合検索システムの整備
	工業所有権情報・研修館	
特許庁 関係府省	工業所有権情報・研修館	・リサーチツール特許データベース（RTDB）の提供